

12. 学生のボランティア活動

1) ボランティア活動への支援

高知県立大学看護学部では、教員と学生が積極的に地域社会のボランティア活動に参加している。学生のボランティア活動を支援・促進し、人間や社会への関心を高め、さらに主体性の育成を支援するため、教員2名がボランティア委員として活動している。ボランティア委員は、ボランティアを募集する機関・団体と学内教員との橋渡しや、高知医療センターとの活動調整を行っている。以下、本年度のボランティア活動への支援について報告する。

(1) ボランティア活動に関するガイダンス

高知県立大学看護学部で年間を通じたボランティア活動について、4月のオリエンテーション時に各学年へ資料を配布した。また、1回生に対しては、6月にZoomミーティングで開催されたクラス会にてボランティア活動について説明を行った。

具体的な紹介内容は以下の通りである。

- ①看護学部に関わりのあるボランティア活動の紹介
- ②高知医療センターでのボランティア活動について
- ③ボランティア活動保険について

(2) ボランティア活動に参加する学生への支援

COVID-19のため、令和2年度はボランティア活動への参加の機会はなかったが、活動再開に備えて1回生を対象としたガイダンスを実施した。

- ①ボランティア活動に参加する学生のためのレクチャー・ガイダンスの実施
- ②学内におけるガイダンス：車いす介助・視覚障がい者のガイド（11月に1回生を対象に4回実施、計81名参加）

(3) 学外ボランティア募集に関する学生への情報提供

ボランティア募集のあった以下の団体・イベントの情報について、キャンパスポータルサイト等を利用し、学生に情報提供を行った。

- ①令和2年度学習チューター派遣事業

2) 高知医療センターでの活動

例年は、高知医療センターのボランティア組織「ハーモニーこうち」の活動に参加していた。

本年度は、COVID-19のためボランティア活動は中止となった。次年度以降、活動が再開された場合には学生が継続的にボランティア活動に参加できるように支援していく。